

特集

退院した日から始まる看護・介護

退院の日を前に、さまざまな不安を抱えている患者と家族。それらの不安を受け止めて、地域の生活(在宅)へと移行していく際には、病棟看護師から訪問看護師への上手なバトンリレーが求められます。

入院したときから始まる退院調整 宇都宮宏子
 寄り添うことから始まる医療連携 細谷恵子
 患者・家族の不安や戸惑い——相談をうけるなかで見えてきたこと 岩本ゆり
 訪問看護ステーションと急性期病院のより密接な連携を目指して 城谷典保

■特別記事

インタビュー 褥瘡ケアの最前線 石川治氏に聞く
 グループホームを終の棲家に——居宅系高齢者施設に対する意識調査を通して 富山宗徳

■研究報告

病棟看護師の行なった退院支援の評価——退院後の療養者とその家族へのインタビューから 坂井美和ほか
 在宅におけるがん末期患者との関わり方の模索 小松山美子

■新連載

ケーススタディ 高齢者虐待への対応① 和田忠志
 イギリスの小児訪問看護の歴史と現状① 多田羅竜平

■連載

マグネットステーションインタビュー 木村憲洋／訪問看護時事刻々 石田昌宏／もの忘れを補うモノたち—簡単な道具と機器を利用した認知症患者の日常生活支援 安田清／わたしのことをわたしから 鈴木信行／在宅で療養するがん患者と家族のためのケアの手引き 福井小紀子／ほんとの出会い 岡田真紀／訪問看護ステーションの現場をあるく 川越博美ほか／萌黄色のハンカチーフ 赤川次郎

編集
後記

●3号にわたった事前約束指示の連載は今回が最終回です。末期がん患者の在宅医療に関する医師・訪問看護師の連携のあり方として事例を紹介しながら解説していただきました。特別記事「小さな車が大きく広げた素敵な生活」は、車椅子利用者が車椅子のまま後部座席ではなく助手席に乗車できるというもので、先生との校正往来時にいただいた「後部座席に乗車では会話が遠いですね」の一文にはハッとさせられるものがありました。改造した以外の車種でも対応できるようにデザインも掲載しています。どうぞご覧ください。……………富岡

●特集は臨床と教育の連携による排泄ケアプロジェクトの報告です。老いて身体が利かなくなり、トイレでの排泄をあきらめてしまったところから気持ちちは内向きになり、外にも出たくない、世の中への関心も薄れて……そうした高齢者にケアの専門職が向き合い、かかわっていくとオムツが必要でなくなっていくのです。ご本人の自己決定を尊重した取り組みが光ります。連載「大牟田発！」は活動が地域に根付き始めたところで最終回を迎えました。これからは折々にその後の展開を寄せていただきたいと願っています。……………伊藤

訪問看護と介護 第13巻 第3号 2008年3月15日発行(毎月1回15日発行)

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2008, Printed in Japan
 1部定価1,260円(本体1,200円+税5%) 年ごめ予約購読料13,200円(年間12冊, 消費税, 送料弊社負担)

発行:株式会社 医学書院/代表者:金原 優/販売部:03-3817-5657/社内案内:03-3817-5600

「訪問看護と介護」編集室:直通03-3817-5787 FAX 03-5804-0485 担当:富岡・伊藤・早田

Eメール houmon@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページURL http://www.igaku-shoin.co.jp

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

JCLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本紙の無断複写は著作権法上の例外を除き禁止されています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話03-3817-5670, FAX03-3815-8199)の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「0917-1355/05/¥250/論文JCLS」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCLSへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。